

# 府中のスポーツ



Fuchu-city Amateur Sports association  
新年号

■発行：特定非営利活動法人 府中市体育協会 ■発行責任者：会長 小島壽一郎 ■編集：特定非営利活動法人 府中市体育協会 事務局  
■〒183-0056 東京都府中市寿町 1-5 府中駅北第2庁舎 ■TEL/FAX 042-364-1314 ■https://fuchu-taikyo.org ■E-mail: taikyuu@clock.ocn.ne.jp



## 初春を迎えて

特定非営利活動法人 府中市体育協会会長

小島 壽一郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

希望に満ちた新年を府中市体育協会役員・会員及びご協力いただいた皆様とともに迎えられますことを心からお慶び申し上げます。

日頃より、市行政当局をは

# 謹賀新年



東京オリンピックが無観客等変則的なスタイルで開催され、また、パラリンピックも令和3年8月24日から9月5日まで開催されました。両大会とも日本選手の活躍で大変盛り上り盛況の中、とどろりなく終了することができました。しかし、残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、都民大会（春季）、東京都町村総合体育大会は中止になりました。また、府中市では、総合体育大会の意味から、全体的な競技の実施が困難なため、苦渋の決断であります。市民体育大会及び市民スポーツレクリエーションフェスティバルを中止いたしました。今後は、新型コロナウイルス感染症の注意を怠らず、スポーツ活動が徐々に再開されれば、市民の健康増進に喜ばしい事と思われま

じめ、賛助会員の皆様並びに各競技団体の方々には、本協会の運営や各種事業に多大なるご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、令和3年8月には東京都で5000人の感染者が記録され、緊急事態宣言が発令されました。ワクチン接種やマスク、手の消毒等に多くの方々が協力され、当市においても減少の傾向が見られますが、まだ、終息が見えず、油断は禁物です。

一方、令和3年7月23日から8月8日まで、賛否両論がある中で、令和3年11月に（公財）日本スポーツ協会及び（公財）日本パラスポーツ協会より、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」が発表されました。今年こそ、新型コロナウイルス感染症がおさまり、市民体育大会や各種大会が心おきなく開催されることを心からお祈り申し上げます。

- 令和3年度役員一同
- |      |                    |
|------|--------------------|
| 会長   | 小島壽一郎 (陸上競技協会)     |
| 副会長  | 比留間一磨 (柔道連盟)       |
| 副会長  | 武田慎午 (ソフトテニス連盟)    |
| 専務理事 | 大谷久知 (陸上競技協会)      |
| 常務理事 | 高橋弘藏 (ソフトボール連盟)    |
| 常務理事 | 見上茂男 (野球連盟)        |
| 常務理事 | 小野寺 淳 (卓球連盟)       |
| 常務理事 | 市村忠司 (サッカー連盟)      |
| 常務理事 | 近藤靖明 (水泳連盟)        |
| 常務理事 | 前田 彰 (ソフトテニス連盟)    |
| 理事   | 末宗祥夫 (柔道連盟)        |
| 理事   | 星 祐喜 (剣道連盟)        |
| 理事   | 村上 昇 (相撲連盟)        |
| 理事   | 山中 久 (バレーボール連盟)    |
| 理事   | 賀谷洋司 (弓道連盟)        |
| 理事   | 鈴木芳明 (バスケットボール連盟)  |
| 理事   | 鈴木尚人 (スキー連盟)       |
| 理事   | 染谷正史 (アマチュア飛行連盟)   |
| 理事   | 下田正男 (空手道連盟)       |
| 理事   | 藤本利博 (ハンドボール連盟)    |
| 理事   | 坂口千年 (バドミントン連盟)    |
| 理事   | 濱田輝之 (庭球連盟)        |
| 理事   | 森山佳代子 (体操連盟)       |
| 理事   | 中川雅明 (乗馬連盟)        |
| 理事   | 加園光胤 (なぎなた連盟)      |
| 理事   | 安藤哲夫 (クレー射撃連盟)     |
| 理事   | 新田毅彦 (ライフル射撃協会)    |
| 理事   | 黄 大勇 (テコンドー協会)     |
| 理事   | 土屋知子 (居合道連盟)       |
| 理事   | 松村信幸 (ダンススポーツ連盟)   |
| 理事   | 篠塚政男 (ゲートボール協会)    |
| 理事   | 岩間和男 (テニストennis協会) |
| 理事   | 曾我祥信 (ゴルフ連盟)       |
| 理事   | 平井顕彦 (クラウンドゴルフ協会)  |
| 監事   | 山川信明 (相撲連盟)        |
| 監事   | 市川敦子 (卓球連盟)        |
| 事務局長 | 田口和雄               |
| 事務局員 | 小池礼子               |
| 事務局員 | 松村淳子               |
| 事務局員 | 中島 優               |
| 事務局員 | 森田 博               |

あましまして  
おめでとう  
ごきげんよう



### 新春を迎えて

府中市長 高野 律雄



あけましておめでと  
うございます。  
皆様におかれまして  
は、輝かしい令和4年  
の新春をお健やかにお  
迎えのこととお喜び申  
しあげます。また、小  
島会長をはじめ、役員並びに会員の皆様には、  
日頃より市民スポーツの振興と普及に、格別な  
ご尽力をいただいておりますことに、改めて心  
から深く感謝を申し上げます。

さて、私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス  
ウィルス感染症は、各種スポーツ活動等に励ま  
れている皆様にとりましても、日々の練習や大  
会の実施等は困難を極め、新しい方法を模索  
しながら取り組まれていたことと存じます。

また、昨年開催された東京オリンピック・パ  
ラリンピック2020大会は、無観客で行われ  
た試合が多かったものの、本市におきましては  
世界に府中市を発信することができ、また多く  
のレガシーを残すことができました。この機運  
をもとに、貴会をはじめとした関係の皆様と連  
携し、市民の誰もがスポーツを楽しむことがで  
きる「スポーツタウン府中」のまちづくりを推  
進していく所存でございます。

どうか皆様におかれましては、今後ともより  
多くの方々が生涯にわたりスポーツに親しみ、  
市民スポーツが更に発展するよう、変わらぬお  
力添えを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、府中市体育協会のますますの  
ご隆盛と、会員並びにご家族皆様のご健勝とご  
多幸を心よりお祈り申しあげ、ご挨拶といたし  
ます。

### 新年のご挨拶

府中市議会議長

村崎 啓一



あけましておめ  
でとうございます。  
皆様には、令和  
4年の新春をお健  
やかに迎えられる  
ましたこととお慶び  
申し上げます。

また、日ごろから小島会長をはじめ、府  
中市体育協会の皆様におかれましては、市  
民のスポーツ振興や地域コミュニティの推  
進等、市政運営に多大な貢献を賜っており  
ますことを、厚くお礼申し上げます。  
昨年は、東京2020オリンピック・パ  
ラリンピック競技大会が、新型コロナウイルス  
感染症の感染拡大による一年の延期を  
経て開催されました。感染拡大防止のため、

### 新年のご挨拶

府中市教育委員会教育長

酒井 泰



新年あけまして  
おめでとうござい  
ます。  
府中市体育協会  
の皆様におかれま  
しては、健やかな  
新春をお迎えのこ  
とと、お慶び申しあげます。

また、日頃より、競技力の向上や楽しむ  
スポーツの普及、ジュニア選手の発掘及び  
育成などに尽力され、本市のスポーツの振  
興発展に多大なご貢献を賜っておりますこ  
とに、心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影  
響により、1年延期して開催された東京  
2020オリンピック・パラリンピックで  
は、市内会場での観戦が叶わず、予定され

多くの競技が無観客での開催となりました  
が、日本は過去最多のメダルを獲得し、選  
手たちの活躍に、多くの方が元気づけられ  
たことと存じます。また、新型コロナウイルス  
のワクチン接種が進み、経済活動が再  
開される中で、本市においても、スポーツ  
関係のイベントの開催等が増えてきており、  
大変喜ばしく感じているところでございま  
す。

このような中、今年は、市民のスポーツ  
活動の機会増加が期待されますが、引き続  
き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策  
は、徹底して行う必要がございます。府中  
市体育協会の皆様におかれましては、今後  
とも市民が安全にスポーツを楽しむことが  
できる環境づくりにご協力をいただきます  
よう、お願い申し上げます。

結びに、府中市体育協会のますますの発  
展と、関係者並びにご家族の皆様のご健勝  
とご多幸を心から祈念申しあげまして、新  
年のご挨拶とさせていただきます。

ていたイベント等が縮小・中止されるなど、  
異例づくめの開催となりましたが、本大会  
を契機とした様々な取組を通して、地域の  
活性化や青少年の健全育成など、多岐にわ  
たる分野の機運醸成が図られたことは、非  
常に有意義なことと考えております。

本市では、このような社会状況を踏まえ、  
ウィズコロナ・ポストコロナ時代における  
スポーツ活動の在り方を見据えつつ、更なる  
「スポーツタウン府中」の発展を目指し、  
令和4年度を初年度とする次期府中市ス  
ポーツ推進計画を作成しているところです。  
今後とも、これまで積み重ねてきた取組  
を引き継ぎながら、スポーツに関わる機会  
の提供や環境の整備を更に進めてまいりま  
すので、貴会におかれましては、引き続き、  
変わらぬご協力を賜りますようお願い申し  
あげます。

結びに、貴会の今後ますますのご発展と、  
会員並びにご家族の皆様のご健勝、ご多幸  
を心より祈念申しあげまして、新年のご挨  
拶といたします。

### 東京2020 ロードレースが府中市内の自転車競技

2021年7月24日(土)及び25  
日(日)の2日間にわたり、東京  
2020オリンピック自転車競技  
ロードレースが開催されました。

新型コロナウイルス感染症の拡  
大に伴う政府による緊急事態宣言  
が発出され、沿道観戦は自粛とな  
り、スタート地点である武蔵野の  
森公園は無観客でスタートイング  
セレモニーが開催されました。

府中市においては、武蔵野の森  
公園をスタートした後、東八道路、  
小金井街道、桜通り、けやき並木  
通り、大國魂神社境内、府中街道  
をパレード走行で通過し、是政橋  
でリアルスタートとなりました。

市内は武蔵野の森公園と是政橋  
の2箇所がスタート地点となるほ  
か、大國魂神社境内を世界中のア  
スリートたちが駆け抜ける様子が  
世界に配信されるなど、府中市の  
魅力の世界中に発信できる機会と  
なりました。



#### 【開催日程】

男子：2021年7月24日(土) 11時00分スタート  
女子：2021年7月25日(日) 13時00分スタート

#### 【コース】

スタート：武蔵野の森公園  
ゴール：富士スピードウェイ  
総距離：男子：24.4km  
女子：14.7km

#### 【大会結果】

- 男子：1位(金) リチャル・カラパス(エクアドル)
- 2位(銀) ワウト・ファン・アールト(ベルギー)
- 3位(銅) タデイ・ポガチャル(スロベニア)
- 35位 新城 幸也
- 84位 増田 成幸
- 女子：1位(金) アンナ・キーゼンホファー(オーストリア)
- 2位(銀) アネミツク・ファン・ルーテン(オランダ)
- 3位(銅) エリーザ・ロンゴ・ボルギーニ(イタリア)
- 21位 與那嶺 恵理
- 43位 金子 広美



◆東京都スポーツ功労賞(個人)

府中市体育協会常務理事  
府中市ソフトテニス連盟副会長

前田 彰氏



十一月三日都民ホールにおいて「令和三年度東京都スポーツ功労賞(個人)」の表彰を頂きました。都区市町村で個人三十一人及び二十六団体の表彰式がありました。ご推薦して頂きました府中市文化スポーツ部、体育協会に感謝申し上げます。

府中市ソフトテニス連盟の歴史も長く六十七年を経ています。その一員として会長の下で毎年各種連盟行事を行っています。対外試合、市民競技会、夏合宿(昨年、今年にはコロナの影響で、大会、夏合宿はできていません。)含め執り行っています。勿論テニスプレーは一人では楽しめません。プレー仲間が集まり、会を組織して練習会や競技会を行っています。対外試合等を通じて技術向上を目指し体力維持増進と会員の相互親睦をはかり、そして仲間と接して友好を大切に元気で楽しく永く生涯スポーツとして続けて行きます。今回の受賞を受けて諸先輩の築かれた歴史を継続しより良く成長していきたいと思っております。



◆東京都スポーツ功労賞(団体)

府中市居合道連盟

(会長 平澤 利明)

この度令和三年度、東京都スポーツ功労賞スポーツ功労団体として府中市居合道連盟が表彰されました。ご推薦下さった府中市文化スポーツ振興課、府中市体育協会はじめ関係者皆様に感謝申し上げます。この荣誉に恥じない様、居合道連盟の更なる充実と発展を目指して活動して参りたいと思っております。居合道の修行を通じ技術の向上だけに留まらず、日本人としての矜持を持つて心の勉強にも努めて参りたいと思っております。今後とも関係各位のご指導とご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



◆東京都市町村体育協会連合会表彰

(体育功労者表彰)  
府中市テコンドー協会会長

青柳 勉氏



この度は、東京都市町村体育協会連合会より体育功労賞を受賞させて頂き、関係者の皆様

に感謝申し上げます。また、このような大変名譽ある賞を推奨していただき、府中市体育協会の皆様には深く感謝申し上げます。このような賞を頂くことができ驚きと喜びでいっぱいでございます。

府中市テコンドー協会では、少年部から壮年部まで老若男女問わず、日々テコンドー精神に則り練習に励んでおります。テコンドーは多彩で華麗な足技が特徴であり、健康、美容効果にも優れている武道です。今後もテコンドーを通じ、心と体を柔軟に、肉体と精神を強く鍛え、府中市テコンドー協会一丸となって精進していきたくと思っております。



◆令和3年度 府中市体育協会

役員永年勤続功労表彰

◆勤続25年功労表彰

土屋 勇一氏 体育協会評議員

- 藤澤 光男氏 体育協会評議員 (バスケットボール連盟)
- (アマチュア飛行連盟)
- 黄 秀一氏 体育協会評議員 (テコンドー協会)

◆勤続16年功労表彰

- 室井 清助氏 体育協会評議員 (野球連盟)
- 相澤 秀吉氏 体育協会評議員 (相撲連盟)
- 高橋 満子氏 体育協会評議員 (なぎなた連盟)

◆勤続6年功労表彰

- 今井 祥子氏 体育協会評議員 (ダンススポーツ連盟)
- 市川 光氏 体育協会評議員 (陸上競技協会)
- 岡本 幸一氏 体育協会評議員 (ソフトテニス連盟)
- 堀井 聡子氏 体育協会評議員 (ソフトテニス連盟)
- 戸田 純一氏 体育協会評議員 (卓球連盟)
- 菅嶋 尚美氏 体育協会評議員 (バレーボール連盟)
- 清水 博孝氏 体育協会評議員 (アマチュア飛行連盟)
- 金子 重明氏 体育協会評議員 (アマチュア飛行連盟)
- 出口 博氏 体育協会評議員 (庭球連盟)
- 貞金 浩司氏 体育協会評議員 (庭球連盟)
- 若林 加奈子氏 体育協会評議員 (庭球連盟)
- 村松 葉子氏 体育協会評議員 (なぎなた連盟)

◆令和3年度

東京都スポーツ少年団

功労者表彰

MIRACLE・FVC・スポーツ少年団

亀田 剛史氏

受賞されたみなさま

おめでとうございます

加盟団体の活動紹介

府中市グラウンド・ゴルフ協会

■特徴的な事業・活動

平成7年に体育指導委員会(現:スポーツ推進委員会)のニュースポーツ普及の一環として市内数か所でグラウンド・ゴルフ教室を開催し(教室終了後)参加者が中心になってクラブを作り活動拠点としました。平成8年には複数のクラブをまとめて体育指導員の力を借り協会を設立しました。平成29年には(特非)府中市体育協会に加盟が出来、活動範囲が広がりました。

事業としては個人プレーを楽しむ一方、団体(4組)、ペアマッチなど変わったプレーしながら会員相互の親睦を深めています。

現在、市内には11クラブ270名の会員が健康維持・増進を目ざし定期的に日々活動し腕を磨いています。協会では年4回(春季交流大会、秋季交歓大会、スポレク大会、市民大会)の全市的大会を、又、交流大会に関しては近隣区市町村の仲間を誘い300名規模で実施しています。上部団体主催(日本G・G協会東京都G・G協会)大会、例えば全国大会、関東大会、国体、全国レディス大会、ねりんピッチに府中から多くの会員が参加し交流しています。

■過去の主な成績・実績

上部団体(日本G・G協会東京都G・G協会)主催大会の上位結果一覧

大会名	優勝		準優勝		第3位	
	男	女	男	女	男	女
東京都 G・G 交歓大会	1	5	1	3	1	1
東京都 スポレク大会	0	3	0	0	0	1
多摩地区 交歓大会	0	0	1	0	3	1
東京都レディス	0	0	2	2	2	2

※G・G・グラウンド・ゴルフ ※東京都G・G交歓大会は年2回開催

■今後の目標(会員の拡大等)

しかし、協会の悩みは高齢化する会員の一方で多様化する現世の為、入会する方々増えず、協会員減少が始まり、今後若年層の入会対策が急務です。

対策の一例として①体力的側面の観点からグラウンド・ゴルフが「高齢者にとっての運動」として、適したスポーツである」ということを企業のとくに日常的スポーツを行うていなかった定年退職者をターゲットに体を動かす手段に活用することが有益であることを強調していきたい。

府中市グラウンド・ゴルフ協会

文責 緒方



# 令和4年 新年賀詞交歓会 中止について

府中市体育協会では、新しい年を祝うとともにスポーツを愛好する市民の皆様が健康で明るい生活が送れますよう祈念し、新年賀詞交歓会を例年開催させていただいております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染者数は、府中市内におきましても減少傾向にあり、日常生活も落ち着きを取り戻しつつありますが、未だ大人数での会合等は避けるべきと幹部役員の検討の結果、苦渋の選択ではございますが、令和4年の賀詞交歓会につきましては、中止とさせていただきます。

## 賛助会費のお礼と賛助会員の会費の納入協力をお願い

平素から、当協会の運営にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。令和3年度も多くの方々から賛助金をいただいております。誠にありがとうございます。

この皆様からの貴重な財源を活用し、一層、社会体育事業の充実を進めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

○賛助会費の額 一口 10000円

※加盟団体目標額

五十口 500000円以上

事務局で随時受付いたしますので、ご連絡ください。また次の口座に賛助金をお振込みいただいても結構です。

○振込先 多摩信用金庫府中支店

(普通)口座番号4191681

口座名義人(特非)府中市体育協会

会長 小島 壽一郎

○納入場所(特非)府中市体育協会事務局 府中駅北第2庁舎4階

○連絡先(TEL・FAX) 042・364・1314

# スポーツ少年団の概要

※ガイドブック令和3年 1月28日発行より抜粋  
1 スポーツ少年団の活動

(1)スポーツ少年団の創設とその意義

昭和37(1962)年6月23日、日本スポーツ少年団は、日本体育協会(当時)創立50周年の記念事業として創設されました。

その願いは「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを!」「スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる組織を地域社会の中に!」というものでした。

当時は産業の機械化・近代化が急激に進み、これに伴う消費社会では、物質的には豊かな生活が送れるようになった反面、人々のこころやからだに大きな問題が起きてきました。

とりわけ子供たちへの影響は大きく、からだを動かすことが少なくなることによる体力の低下や、地域社会の崩壊による子ども集団の消失が進むとともに、少年犯罪の増加・低年齢化といった問題も顕著になり始めていました。

こうした中、子どもたちに地域を基盤としたスポーツの場を提供することにより、スポーツを計画的、継続的に実践し、それによって子供たちを健全に育成しようと、スポーツ少年団の結成が全国に呼びかけられました。

創設当時の団数は22団、団員数は753人という小さな団体でしたが、スポーツ少年団が掲げた「スポーツによる青少年の健全育成」という目的の実現に向けた動きと、東京オリンピック競技大会(1964年10月)を2年後に控え、国民各層のスポーツへの関心の高まりとが相まって、単位スポーツ

少年団(以下単位団)、団員、指導者がその後急激に増加していきました。

本来、発育発達期にある子どもたちにとって、スポーツを継続的に行うことは精神的にも身体的にも望ましい効果が期待できるため非常に大切なことです。

また、将来に向かって伸びていくとする子どもたちは、どんな環境にあっても自分を見失わず、力強く生きぬく力を持つことが必要です。その力を養う機会、つまり子どもたちが自らの力を育てるための場は、生活と結びついた地域社会の中で、子どもたちの集団による社会活動の場以外にありません。

そして、スポーツこそ、その原動力となるのです。ここに、スポーツ少年団の存在意義があります。

## (2)スポーツ少年団の特色

地域における子どもたちの活動には、さまざまな団体が「青少年の健全育成」という同じ目的をもって活動しています。そうした中であって、例えばボーイスカウトやガールスカウトが奉仕活動を通じたスカウト活動であるように、スポーツ少年団は、スポーツを通して活動が主体となっている点に、その特色があります。

スポーツ少年団とはどんな団体なのかを整理してみると、次の5つの要素があります。

- ① だれが子どもたちが
- ② いつ自由時間に
- ③ どこで地域社会で
- ④ なにを幅広いスポーツ活動を
- ⑤ どのようにしてグループ活動で行っている集団です。

スポーツ少年団の活動は、学校時間や家庭時間を除く自由時間に行い、活動拠点は学校内ではな

く、地域社会の中にあります。また、スポーツ活動ばかりではなく、学習活動、野外活動、レクリエーション活動、社会活動、文化活動など幅広く捉えています。ここらもからだも大きな成長変化を遂げる時期には、このような多様なプログラムが必要で、そして、このような活動は、異年齢集団の特性を生かしながら、みんなで役割を分担し合い、自主・自立的に行うことが重要です。

## (3)スポーツ少年団の歩みとこれから

平成24(2012)年6月23日にスポーツ少年団は創立50周年を迎えました。これまでの道のりが決して平坦だったわけではありません。

結成時代の昭和37(1962)年の創設から昭和47(1972)年までの11年間は、単位団の結成や団員の加入促進など、スポーツ少年団を内外に知らしめる啓発の期間でもありました。

基礎建設期の昭和48(1973)年から昭和57(1982)年までの10年間は活動の活発化のため、日独スポーツ少年団同時交流を昭和49(1974)年に開始しました。さらに名実ともに自立した組織を確立するため、昭和51(1976)年に有料登録制を導入し、昭和52(1977)年には初めて、単位団の支援組織として育成母集団の結成が打ち出されました。また、平成7(1995)年の登録料改定を機に更なる組織の充実と発展を目指し、現在のスポーツ少年団組織の基礎が確立されてきました。

しかしながら、社会情勢の大きな変化の中、青少年を取り巻くスポーツや遊びの環境も大きく変化し、スポーツ少年団の活動にも様々な問題や課題が生じてきまし

た。これを受け、日本スポーツ少年団では、これからのスポーツ少年団のあり方について検討を重ね、また、各関係機関からの意見も踏まえ、平成21(2009)年6月に「スポーツ少年団の将来像」を策定いたしました。日本の青少年スポーツ事情を踏まえた上で、近未来ではなくその先を見据え、また、理念の新たな視点として「スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する」を加えるなどスポーツ少年団が進むべき方向性について示しています。

現在、この「スポーツ少年団の将来像」を踏まえ、各スポーツ少年団との連携を一層緊密に図りつつ、様々な課題の対応に取り組んでいます。

【スポーツ少年団の理念】  
・一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する  
・スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる  
・スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する

## (4)スポーツ少年団におけるスポーツ活動

本来、ジュニアスポーツは身体運動をともなった遊びであるといわれています。遊びは誰からも指しされるものではありませんから、そこには自由な遊びと楽しさがあります。自主的な子どもの遊びの中では、いつの間にかそれぞれの発育発達に応じて子ども自身が身体を動かし、理想的な身体運動が展開されています。しかもその活動は自律的で自由な遊びですから、そこから生まれる喜びや楽しさが新たな感動を呼び起こし、さらには協調性や創造性など、生きる上で基本となる豊かな情操を養うなどの素晴らしい効果を発揮するのです。概して集団遊びの体験が少

ない子どもの中には、社会のルールを守る態度が身につかず、社会生活への適応が困難な子どもが多いといわれています。遊びを通してルールを学び、相手を思いやる心を養うなどの相互教育作用が生まれ、良き社会人への成長に結びついていくのです。

最近では、幼児期の子どものうち、真つ直ぐに走れない、でんぐり返しができないといった事例が見られるようになりました。これは、昔に比べ外遊びや集団遊びなどをしなくなったため、遊びの中で自然に身につくはずの「走る・投げる・跳ぶ・転がる・滑る」といった基礎的動作が上手にできなくなったことが原因と考えられています。

産業の発達や社会構造の変化などによって、子どもたちを取り巻くスポーツ環境が変化するとともに、食生活や遊びの変化などによって子ども自身のこころとからだにも広範な影響が現れてきています。そして、一部では、大人の都合でスポーツの勝敗や結果ばかりを重視し、子どもたちに過激な動きを求めようになったことが原因で、スポーツ障害を起こす事例もあります。

このような弊害をなくし、スポーツ少年団の目的である「スポーツによる青少年の健全育成」のためには、常にこころとからだの発育発達に十分配慮した活動プログラムでなくてはなりません。

大会情報・各種イベントスケジュール等は『府中市体育協会ホームページ』でご確認ください。



府中市体育協会  
https://fuchu-taikyo.org